

# 第1編 工事等の概要

## 第1章 工事概要

### 1. 全体工事概要

東環状大橋（仮称）建設工事

- ・ 橋長L = 1, 291 m
- ・ 幅員W = 26.3 ~ 32.3 m（4車線、両側歩道）
- ・ 河川内橋脚13基（P2~P14）、陸上橋脚1基（P1）、陸上橋台1基（A2）
- ・ 干潟部（P1~P5）橋梁形式：  
4径間連続ケーブルイグレット鈹桁橋（575 m）
- ・ 一般部（P5~A2）橋梁形式：  
5径間連続ラーメン鈹桁橋×2（716 m）



工事実施場所

### 2. 工事進捗状況

工事5年次における進捗状況は、図1-1「平成19年度 発注及び工事進捗状況」に示したとおりである。

### 3. 平成19年度工事の作業内容

平成19年度工事の作業内容は、表1-1「平成19年度 工事作業工程表」に示したとおりである。

工事期間は、非出水期の11/1~5/31に限定されており、その中でも4月と5月はシギ・チドリの渡りの最盛期なので、騒音の大きい鋼管矢板打設は禁止している。

濁水発生工程では濁水処理設備を導入しており、使用する薬品は安全性の高い無機系凝集剤を使用している。

橋脚廻りの作業には、汚濁防止の確実性の高いグラブフェンスにより囲んでいる。

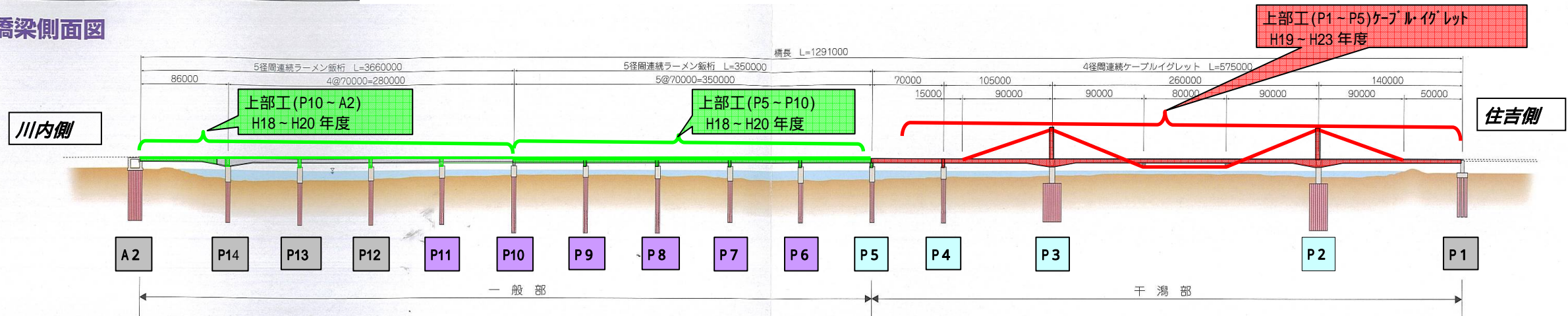
EAST CIRCULAR "EGRET" BRIDGE CONSTRUCTION PROJECT

平成20年3月末時点

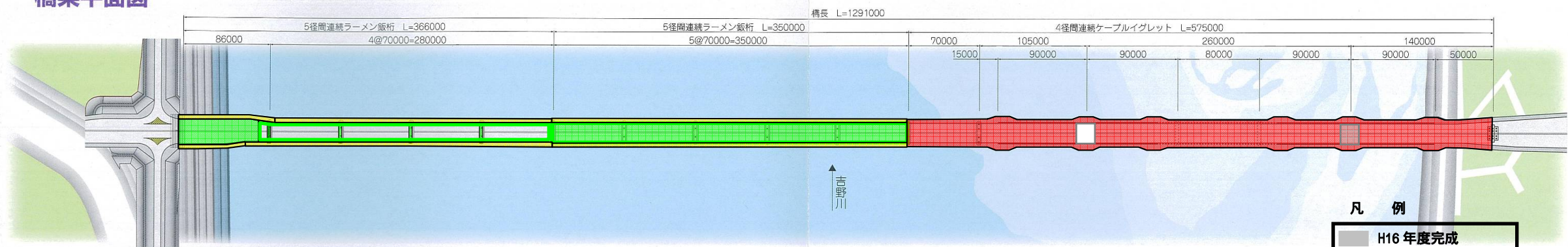
(都)徳島東環状線・東環状大橋(仮称)  
徳島市住吉6丁目～川内町鶴島

東環状大橋(仮称)の全体一般図

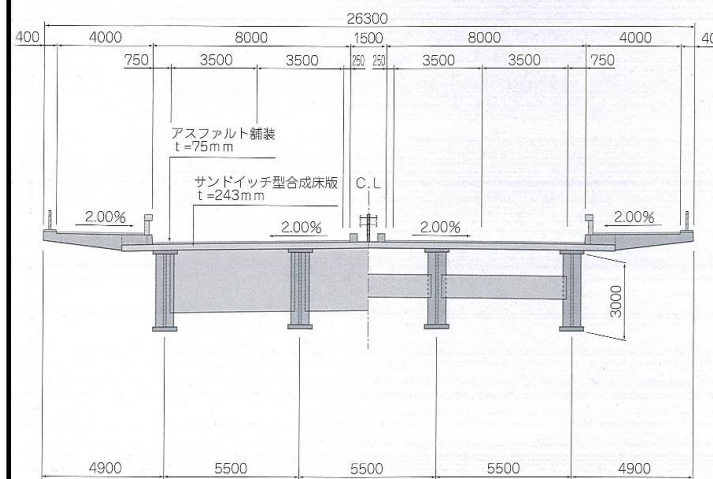
橋梁側面図



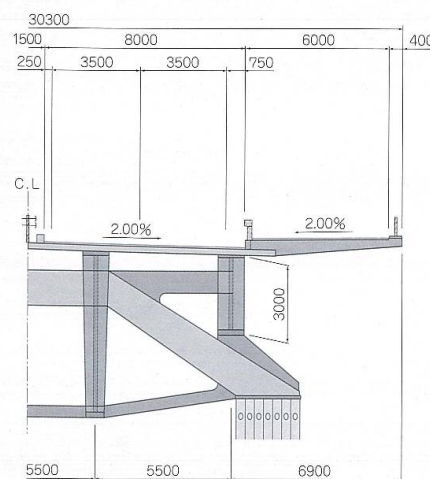
橋梁平面図



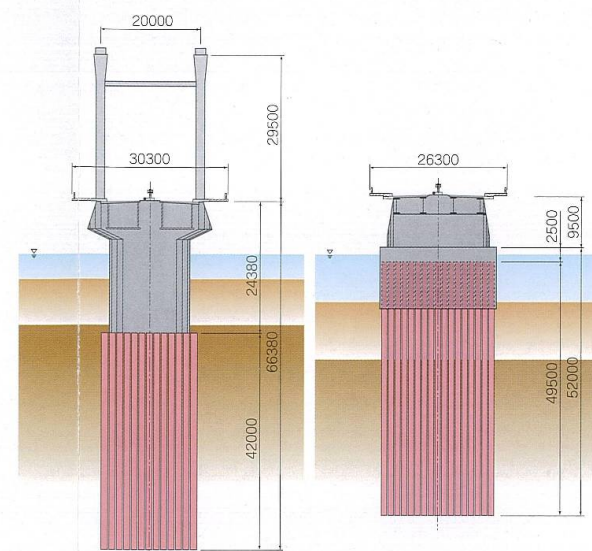
上部工標準断面図



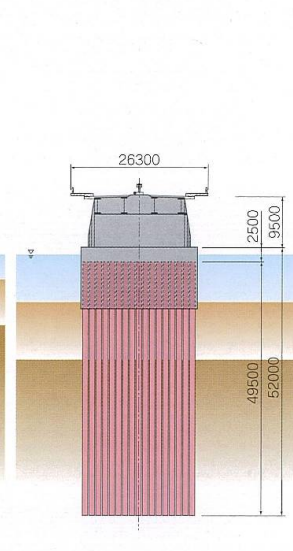
上部工標準断面図(サドル部)



P2橋脚



P7橋脚



凡例

- H16年度完成
- H17年度完成
- H18年度完成
- H19年度継続
- H19年度発注
- H20年度以降発注

計画諸元

橋梁名称	東環状大橋(仮称)
道路規格	第4種 第1級
設計速度	V=60km/h r
設計荷重	B活荷重
橋長	L=1291.0m
橋梁形式	干潟部 4径間連続ケーブルイグレット鈹桁橋 一般部 5径間連続ラーメン鈹桁橋×2
径間割	ケーブルイグレット 140+260+105+70=575m ラーメン鈹桁 5@70=350m ラーメン鈹桁 4@70+86=366m
幅員	全幅 26.3m~32.3m(A2橋台拡幅部) 車道 (8.0m~11.0m)×2, 歩道 4.0m×2
下部構造	壁式RC橋脚, 壁式SRC橋脚, ラーメン式RC橋台
基礎構造	鋼管矢板ウェル基礎, 中掘りSC杭基礎

図 1-1 平成19年度 発注及び工事進捗状況

表 1-1 平成 19 年度 工事作業工程表

	工 種	作業場所	内容	濁水処理	振動・騒音	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
一般部	台船架設準備工	P5～P7	台船係留杭の設置	濁水発生無し	影響なし			/	/	/	/	/						
	台船架設	P5～P7	台船による大型ブロック桁一括架設	濁水発生無し	影響なし			/	/	/	/	/						
	仮設ベント工	P14-A2間の河川内	パイロハンマーによるH鋼杭打設	濁水発生無し	影響なし			/	/	/	/	/						
	桁架設工事	P14-A2間	橋上よりトマラクレーンで桁架設	濁水発生無し	影響なし			/	/	/	/	/						
		P7～P10	既設橋上で桁を地組し、送り出し架設する。	濁水発生無し	影響なし													
	橋上工事	P10～P14	軌条設備設置、桁地組、送り出し装置設置、手延べ桁設置	濁水発生無し	影響なし													
		P14～A2	溶接、ボルト締め、サンドイッチ床版鋼殻設置、塗装	濁水発生無し	影響なし			/	/	/	/	/						
堤防復旧	左岸側堤防	仮設ベント基礎構築時に撤去した既設護岸の復旧	濁水発生無し	影響なし			/	/	/	/	/							
干潟部	準備片付け工	P2,P3,P4,P5	橋脚回りグラブフェンス	濁水発生無し	影響なし													
	鉄筋・型枠組み立て	P4,P5	橋脚躯体工の鉄筋・型枠	濁水発生無し	影響なし													
	コンクリート打設	P3,P4,P5	CP船により打設	濁水発生無し	影響なし													
	配管架台撤去	P2	陸上から延長したコンクリート打設用配管	濁水発生無し	影響なし													
	埋め戻し	P2,P3	鋼管矢板の締め切り内	濁水発生無し	影響なし													
	構台撤去	P2	作業用クレーン、鉄筋等の資材を置いた	濁水発生無し	影響なし													
	鋼管矢板切断・撤去	P2,P3	鋼管矢板を内部から切断し、パイロハンマーで撤去。	濁水発生無し	影響なし													
	フィルター工設置	P4,P5	橋脚回り根固め工	濁水発生無し	影響なし													

4. 平成 19 年度の現場状況

平成 19 年度の現場状況は写真 1～写真 11 のとおりである。



写真 1 工事区域全景 上空より（平成 20 年 1 月）



写真2 下部工(干潟部): P5 橋脚水中コンクリート打設状況(平成19年4月)



写真3 下部工(干潟部): P2 橋脚完了(平成19年4月)



写真4 下部工(干潟部): P2 橋脚鋼管杭切断状況(平成19年5月)



写真5 下部工(干潟部): P5 橋脚完成(平成19年6月)



写真6 上部工(一般部):台船架設状況(平成19年12月)



写真7 上部工(一般部):台船積込状況(平成19年12月)



写真8 上部工（一般部）：トラベラークレーン架設状況（平成20年1月）



写真9 上部工（一般部）：桁上地組立状況（平成20年1月）



写真 10 上部工（一般部）：サンドイッチ床版設置状況（平成 20 年 2 月）



写真 11 上部工（一般部）：送り出し架設状況（平成 20 年 3 月）